



たきざわ

アイパー滝沢

マナちゃんかわら版

マナちゃん&ユウくんの突撃インタビュー

「お笑い芸人として編み物やっってるんだって知ってもらって、今の状況からもっともっと大きくなりたいです！」

芸人としての活動のみならず、数々の个性的かつ笑える編み物作品を生み出す、その名も『手芸人』アイパー滝沢さんに、マナちゃん & ユウくんが突撃インタビュー！

ユウ アイパーはんには、ほんまいつも笑わしてもらってます。

マナ きょうはいっぱいおはなしききたいにやん。

ユウ さつそくですけど、芸人されてはるアイパーはんが、なんで編み物はじめはったんですか？

アイパー 俺はもともと刑務所にいたんだけど、刑務作業をやったのがきっかけホウ。看守にいろいろ教えてもらってた名残で、芸人になってから編み物やってたなって思い出して。それでまた始めたホウ。刑務作業ではかぎ針だけやってたけど、シャバに出てきて棒針も始めたよ。ホーウ！

マナ にやんとー！

ユウ いやあさつそく驚かされました。なあ(笑)マナちゃん転じてはりますけど大丈夫ですか？

それで、実のところは…？

アイパー すんません(笑)一応ごういうのもね(笑)いや実際のところは、始めた当時3年前くらいなんですけど、仕事なさ過ぎて5連休が月に6回くらいあったんですよ。これはほんとまずいなって思ってた。それで「何々芸人」とかあるじゃないですか。俺もそういうの探そうって思ってた。いろいろ探した結果、編み物にたどり着いたんですよ。

マナ あみものはどんなイメージだったのかにや？
アイパー 編み物の存在は知ってたんですけど、特に意識したことはなくて。単純に俺とは真逆のところにあるんだらうなって感じてましたね。

ユウ 実際やってみてどうですか？

アイパー いや面白いっすね。編み物始めてみて気づいたんですけど、俺元々コツコツ作るの好きみたいで。だから性格にも合ってるみたいですね。最初はかぎ針でコースターとかから始めて、小道具に使ってるチャカとかドスにカパーつけたら面白いんじゃないかと思って。そしたら案の定、見た目もあいまってコースターだけでも「こんな作るんかい」ってなったんで、ほんと編み物始めてよかったっす。

ユウ 編み方はどうやって勉強はしたんですか？

アイパー やっぱ最初は本とか動画とかですね。あとやり始めてから気づいたんですけど、うちの親も編み物やってたんですよ。俺始めたんだって言うたら、ずっとやってるけどって(笑)それでちょっと教えてもらったりとか。だから編み物始めてから親とのコミュニケーションも増えましたね。別に仲悪かったわけじゃないんですけど(笑)だから田舎帰ったときはよく一緒に地元の毛糸屋さん行って買い物したりとかしてますね。

ユウ 編み物を通じて親孝行とは素敵ですなあ。

アイパー ありがたいですね、やっぱり「愛、編む」ってだけありますよ。さすがハmanaカさん！マジその通りだなんて。おぶくるも「こんなに続くと思わなかった」ってびっくりしてます。昔はその一時だけですぐ飽きちゃうことが多かったんですけど、ホビーショーに出展させてもらったり個展やったりし

て。わざわざ見に来てくれたりもしました。マナ とってもすてきたにやん♡ほかにもよかったことあるかにや？

アイパー 一番やってよかったなって思ったのは、僕キヤバラ好きなんですけど、たまたまその日ユザワヤ行った帰りで、袋を持ってキヤバラ行ったら、女の子に「何々？手芸でもするの？」って。そしたらその子も手芸好きだったんで仲良くなって、結果ご飯いけました(笑)

ユウ それはよろしおすなあ(笑)

マナ ????

ユウ マナちゃんにはちよつと早いお話ですな(笑)最後に今後の目標を聞かせておくれやす。

アイパー とにかく編み物をもっと広げたいですね。やっぱり知らない人がいっぱいいますから。俺が売れたら自動的に広がるんでしょけど。俺は先に編み物で売れてもいいですからね(笑)でもやっぱりお笑い芸人として編み物やっってるんだって知ってもらって、今の状況からもっともっと大きくなりたいです！

マナ アイパーちゃんがいっぱいテレビで見られるのをたのしみしてるにやん。

ユウ 今後のご活躍、期待しとります。今日はほんまおおきに。

